

学校再編地域協議会八景中学校区部会（第1回） 会議録

日 時	令和2年8月4日（火） 19時30分～21時20分
開 催 場 所	まちづくり協働センター 多目的ホール
出 席 委 員	池上 委員 下中 委員 三谷 委員 嶋田 委員 山口 委員 古賀 委員 木船 委員 小田 委員 四ツ岩委員 堀内 委員 菅野 委員 古田 委員 細見 委員
欠 席 委 員	高橋 委員 萩井 委員
事務局出席者	（教育長）鹿嶽 昌功 （学校教育部長）松下 修 （まちの再生部都市政策室長）小倉 正大 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育総務課担当課長）上野 樹 （教育総務課主任）鈴木 さやか （教育総務課指導主事）松田 成行
議 題	1. 開 会 2. 部会の目的、協議内容、運営方法等について 3. 上野台中と八景中の現状と課題について 4. 保護者グループと地域グループに分かれての協議 ・学校再編についての意見交換 5. グループで協議された内容について報告・共有・まとめ 6. 次回予定 7. 閉 会
傍 聴 人	16名

会議の概要

学校長	<p>1 開 会 傍聴者の確認、交代委員の紹介（1名）、欠席の紹介 －鹿嶽教育長 挨拶－</p> <p>2 部会の目的、協議内容、運営方法等について・・資料1 －事務局より資料に基づき説明－</p> <p style="text-align: center;">＜委員からの発言はなし＞</p> <p>3 上野台中と八景中の現状と課題について・・資料2 －事務局より資料に基づき説明、補足説明を学校長に依頼－</p> <p>現在八景中で困っていることを2つに絞って説明する。「生徒の命を守る」ということ。「生徒の学びを保障する」ということの2点である。まず1つ目では、本校の生徒の半数以上が自転車通学をしており、市内でもめずらしい学校。校区の交通量が大変多いこと、昔からの道もあり見通しの悪い箇所が多いこと等から、交通事故について大変心配している。さらに、学校の下国道から約200メートルの急坂を上らないと学校にたどり着けないという立地にある。毎年、1年生は入学当初へとへとになりながら自転車を押している姿がみられる。特に夏の暑い日は、体力的に限界とを感じる生徒もいる。保護者の自動車による送迎やその他の車の乗り入れの経路でもあり、特に登下校時は、密集する子どもの列のすぐ横を自動車がすれ違うことになり、大変心配している。また、職員室からグラウンドまでが遠く、全く見るできないという課題がある。万が一、グラウンドで事故等があった時に、すぐに駆け付けることができないのも心配である。学校までの急坂（八景坂）では、悪天候の時に樹木が倒れてきたり、折れた樹木が散乱することがよくある。もし災害が起こった時、本校の避難経路は八景坂しかない。他校では複数の経路があるが、本校は1経路しかないので、万が一地震等で八景坂が通れないとなると、生徒は校舎に取り残されることになる。</p> <p>もう1つの「学びの保障」については、学校の周辺にある森・竹やぶから発生する害虫やスズメバチにより、生徒が学習に集中できないという問題がある。先ほどお話した、登校時の疲れにより授業に支障をきたすこともある。校舎からグラウンドが離れていることについては、体育の時の移動と着替えにより10分の休憩時間では間に合わないということがある。その結果、50分の授業時間を確保できない状況が生じている。また、ニュータウンの学校に比べてグラウンドが狭く、体育大会等で地域の方に来てもらった時に、十分な場所の確保ができないのもつらいところである。また、八景坂には大型バスが上がって来ることができないので、校外学習では必ず学校以外の場所が発着地となる。安全な場所で乗り降りさせてあげたいと思う。今回の行政案（上野台中と八景中を統合し、学校を新設する）は、このような本校の課題を解決するために有効な方法だと考える。例えば、現在の八景中</p>
-----	---

	<p>校区の中央辺りに学校ができたとすると、現在5割を超えている自転車通学生が1～2割になる。徒歩と自転車を比べると、事故の確率は大きく異なる。また、自転車は事故の加害者になることもある。そうなった時に、生徒の精神的な負担は大きい。このように、2校を統合することで、地理的な課題をある程度解消できるのではないかと考える。上野台中では、数年前からICTを活用した教育に先進的に取り組んでいる。2校が統合することでそのノウハウを取り入れることができる。また、2校の生徒の持っている良さを共有できるというメリットもある。上野台中の生徒は、幼稚園から中学校までほぼ同じ集団で生活するので、みんなで協力することの大切さがよくわかっている。いわゆる「協力・協働」の精神が培われている。一方、八景中の生徒は何事にも積極的・意欲的に活動する。統合すれば、2校の良さをいかした学校ができるのではと期待できる。また、すでに2校ともに力を入れて取り組んでいることがある。それは生徒会活動や特別支援教育・不登校生徒への対応などである。その両校の力を合わせることで、より良い学校になると考える。さらに、2校が統合し、新しい学校が誕生することで、今以上に「地域とともに歩む学校」「地域とともに育っていける学校」が作れるのではないかと考えている。以上、学校の課題および今後の展望について自分が考えていることをお話しさせていただいた。</p>
委員	<p>「自転車通学生が1～2割に減る」という話があったが、上野台中の生徒の通学はどうなるのか。上野台中の生徒も含めて1～2割ということなのか。</p>
学校長	<p>現在、八景中は校区の最南端に位置しており、もしそのほぼ真ん中に学校を作ったとして八景中生徒の自転車通学を試算した結果が、約1～2割ということであり、上野台中の生徒の通学については考慮していない。</p>
委員	<p>2校統合した時のメリットの話があったが、逆に統合することで何らかの不都合が起こらないのか。例えば、いじめが起こるのではないかと心配がある。</p>
学校長	<p>現在、上野台中でも生徒会活動などを活発に行っており、リーダーシップの取れる生徒も育っている。互いに協力して、そのような課題は克服していけるものと考ええる。</p>
	<p>4 グループに分かれての協議 — 「資料3」 およびグループ協議の方法等について事務局より説明—</p> <p style="text-align: center;">【保護者グループ・地域グループに分かれて協議】</p> <p>5 グループで協議された内容について報告・共有・まとめ — 保護者グループ・地域グループの各記録者より報告。ホワイトボード内容は別紙のとおり—</p>

保護者グループ記録者	<p>本日の協議テーマは「学校の再編についての思いを出し合う」ということで、各委員から発言いただいた。まず1つ目として、八景中には、国道に面し交通量が大変多いという「通学の安全の問題」、校舎とグラウンドが離れているという「施設の配置の問題」、急坂・防犯・避難所などの観点からの「立地の問題」等、様々な課題があるという意見が出された。一方、上野台中は小規模化による「教職員体制の問題」「部活動の問題」「校舎の老朽化の問題」等の課題がある。同じ三田の学校に通う子どもたちの教育を保障するという観点で、この2校の課題を解消するために、学校の再編は必要であり、2校が統合するという行政案に賛成するという意見が大変多かった。統合するにあたっては、充実した施設、豊かな人間関係づくり、安全で安心な通学の保障などの条件を満たした学校にしていきたい。今の子どもたちのことを考えるとスピード感を持って協議を進めてほしい、統合した時の環境変化に伴う子どもたちの心のケアが必要である、子どもたちが安心して新しい学校に通えるように事前に生徒同士の交流を持ってはどうかなどの意見が出された。地元の見集約の方法としてアンケートを検討するにあたって、上野台中校区のある小学校の取組を参考にしているという意見もあり、大人同士の交流も併せて行うことで、より望ましい学校ができるのではないかという意見もあった。以上、保護者グループの報告とする。</p>
地域グループ記録者	<p>「今日出された意見が具現化されるのであれば、学校の再編に反対するものではない」というのが、概ねのまとめであったということ的前提に、報告させていただく。行政案について、各論的な面と総論的な面で意見をいただいた。まず、総論としては、八景中の生徒の通学の状況などから、学校再編に異を唱えるものではない、上野台中が1学年1学級という状況であれば統合すべきである、再編することで部活動や教員数が増えるのはよいことである、現在の2校の課題を解決するための再編であれば反対する者はいないだろう、行政案（上野台中と八景中の統合）に反対する理由は乏しい等のご意見をいただいた。また、どんな学校を作ろうとしているのか「めざす学校像」を明らかにすべき（例えば英語教育、ICTを活用した教育など）、三田市全体の校区のあり方を長期的に考えた上での行政案なら賛成である、次世代の声・当事者である子どもの声に耳を傾けながら検討してほしい、再編で学校がなくなった時に災害時の避難所をどうするのか等の意見もあった。各論で最も多かったのは、新設校の場所の問題であった。八景中校区の中央に近い場所、国道の交通量を考慮した場所、安心で安全な通学路、生徒の通学負担が少しでも軽くなる場所が望ましい等の条件が話し合われた。また、避難所としても今の八景中は問題があり、より災害に強い安全な場所にしてほしいという意見もあった。会の持ち方としては、保護者代表を増やすこと、2つの中学校区に分かれて協議することにはプラス面とマイナス面がある等の意見があった。以上、概ね学校の再編について総論・各論からご意見をいただいた。</p>
事務局	<p>2つのグループ協議については報告の通りとさせていただく。本日出された課題については、次回以降の部会で協議を重ねていきたい。</p>

6 次回予定

－ 9月中旬以降に、19：30～まちづくり協働センターで開催を提案し、了承－

7 閉 会

－松下学校教育部長 挨拶－